

2018年4月9日

第64回 つくば歩の会「京都・嵯峨野の文学散歩」案内

東京での文学散歩はこれまで6回を数えます。7回目は京都での文学散歩を企画しました。奈良から京都に都が遷されてきて以来、数多くの文学作品が生まれてきています。中でも「枕草子」、「平家物語」、「源氏物語」、「落柿舎記」等がよく知られているところですが、今回、京都・嵯峨野が舞台となっている作品に絞りました。千年も前のいにしえに息づいていた登場人物の心模様に思いを馳せながら、散策したいと思います。

日時：2018年6月13日（水） 集合時間 午後12時30分

集合場所：京都駅（山陰線・嵯峨野方面行の32番線、駅弁の売店あたり）

担当幹事： 杠 輝昭（090-8509-8592）、鈴木 紘一（080-5698-2803）

参加費： 拝観料＋保険、1,000円

1. 予定コース 12:30～16:00（約8,000歩）

京都駅 32番線 12:42 発 JR 乗車→嵯峨嵐山駅着→嵯峨嵐山駅出発 13:00→
13:10 野宮入口道標→13:20 野宮神社見学→13:25 竹林歩道→13:30 土佐四天王像→13:35 落柿舎/見学→14:00 向井去来墓石→二尊院→14:15 祇王寺/
見学→14:25 滝口寺/見学→竹林道→14:50 野宮→15:05 天龍寺→渡月橋→
15:20 小督塚見学→琴きき茶屋→16:00 嵐電嵐山駅解散。

○所要時間はゆっくり散策して4時間、歩行距離約3.6km。

2. 昼食 各自、新幹線内等で済ませて来てください。

3. 交通案内

東京駅から京都駅まで、新幹線“のぞみ”で2時間20分です。降車後、中央口改札方面（京都タワー方面）に向かって歩き、左に降りた32番線乗り場付近にお集りください。また、手荷物のある方は、エスカレータを降りた31番、32番線手前付近のロッカーをご利用ください。

ご参考

清少納言は「枕草子」で“野は嵯峨野、さらなり”と嵯峨野を称賛しています。平安京では、朝廷が指定した所が「野」で、嵯峨天皇がつくったプライベートな建物や庭園が嵯峨院。その跡地に大覚寺が建っています。また、嵯峨野は浄土への門であり、浄土は嵯峨の向こうにあると平安の中期から言われています。このような背景のある舞台で展開された文学作品と名所について以下に記しておきます。

1. 野宮神社 天皇の名代として伊勢神宮に仕える斎宮の禊の館
光源氏が六条御息所（みやすどころ）に会おうとして訪れた野宮
出所；源氏物語「賢木」。
2. 落柿舎 松尾芭蕉の弟子、向井去来の旧宅（俳諧道場）で、一夜にして柿の木 40 本の実が落ちたとの謂れ。 出所；向井去来「落柿舎記」。
3. 祇王寺（往生院） 平清盛に寵愛された祇王、妓女。仏御前というライバルの登場により疎遠にされたので、母刀自と三人で隠棲した寺。
出所；平家物語「祇王」。
4. 滝口寺 滝口時頼が、恋人の“横笛“を避けて隠棲した寺→恋慕う横笛は渡月橋の上流、千鳥ヶ淵に身を投げる。 出所：平家物語「横笛」。
小説 高山樗牛著「滝口入道」。
5. 小督塚 小督は平清盛の娘の徳子に仕える女房。宮中一の美人で琴の名人。小督は冷泉隆房の愛人であったが、徳子の夫である高倉天皇の寵愛を受けるようになった。冷泉孝房の正室もまた清盛の娘。
→小督は平清盛の怒りから逃れて隠棲していたが、高倉天皇の命をうけた笛の名人 源仲国によって、小督が弾く琴の音が聴き当てられ見つかる。出所；平家物語「小督」。

以上